

## 市民と市長との対話集会会議録【要旨】

※生成 AI による要約を行なっています。

令和 7 年 12 月 5 日 中津川市 PTA 連合会

### 会長

本日は忙しい中参加いただき感謝する。事前にあげた質問以外でも時間が許せば対応いただけるとのことなので、楽しい対話集会にしてほしい。

### 市長

日頃、中津川市 PTA 連合会の皆さんには、中津川市の子どもたちや青少年育成活動に力添えをいただき感謝している。限られた時間だが、事前テーマを中心に意見交換し、より良くしていくための対話をしたい。皆さんの活動や悩みをお聞きしたい。

### 司会

まず「こどものための環境作り」について、「1.給食の無償化」から話したい。

### 参加者

給食無償化は市長の選挙公約だった。当時、恵那市も無償化に向けて動いていた。市長が当選すれば、給食費が無償化し、年 6 万円浮くと周囲に話していたが、なかなか進んでいない。12 月から 3 カ月間、無償化にする話も聞いた。国も小学校の無償化や補助の動きがある。中津川市としていつ頃、どのような形で無償化が進むのか聞きたい。

### 市長

子どもたちを徹底的に支援することを公約に掲げた。昨年度、幼稚園・保育園・こども園の無償化を実現した。小中学校は物価高騰分(給食費の 19%)を市が負担することで、据え置きにしている。

国の 3 党合意で小学校無償化に動いているが、国が全額負担ではなく、自治体も一部負担しなくてはならない状況。とは言え、小学校は令和 8 年度から無償化になる見込み。

市として、物価高騰対策交付金を活用し、1 月・2 月の給食費を無償化するため、小学校は 1 月から無償化になる。

中学校は 1 月、2 月は無償化するが、4 月からは調整中で、令和 8 年度予算で検討している。

### 参加者

市長の選挙公約の無償化は目玉だった。特にお母さんたちが期待していた。市長

のビジョンとして、いつ頃までに無償化したいか。

#### 市長

小学校は、国の負担割合がはっきりしていないが、4月以降も無償化できると考えている。中学校はできるだけ早くやりたいが、他の課題との優先順位もある。気持ちとしては早くやりたい。

#### 司会

続いて「②通学路の安全対策」に移る。

#### 参加者

通学路の安全対策で5点。

- 1点目、恵那市はバス通学があるが、中津川市でもバス通学を検討しているか。
- 2点目、商業施設が通学路になっているが歩道橋がなく、横断歩道で車が止まってくれない。市に要望書を出したが歩道橋はできないと回答され、商業施設への指導も断られた。市からも指導してほしい。
- 3点目、クマ対策を市としてどう考えているか。
- 4点目、青木斧戸線の中山道に横断歩道がなく、地域住民も設置を望んでいる。
- 5点目、青木斧戸線の秋葉神社の市有地に公衆トイレ設置の要望書を出しているが、毎回断られる。近くにトイレがあるとありがたい。

#### 市長

2点目の商業施設の件を詳しく聞きたい。

#### 参加者

商業施設の進入路を横切る必要がある。夕方、右折禁止を無視して入ってくる車が多く、標識も見えにくい。商業施設に訴えても対策してもらえない。

#### 市長

わかりました。

まず1点目のバスについては、現状対応できておらず、計画もない。スクールバスは加子母、付知、福岡地区にはあるが、学校までの距離によるもの。

2点目の商業施設の件は、どの施設にも該当してしまう問題。学校や教育委員会と話しながら、市として店舗側に話すことはできるが、対応は店舗次第。

#### 参加者

先生たちの負担軽減のためにも、少しでも訴えることで態度が変わるかもしれない。

#### 市長

全国的に同様の場所があるので、上手にやっている事例を確認しながら検討したい。

3点目のクマについては、市や教育委員会で得策的なものは現状ない。鈴を携帯するなど、対策をしながら、見守りの人に対応してもらえない。

4点目の横断歩道は市の管轄ではなく、公安の管轄なので、市がどうこうできない。基本的に横断歩道以外は渡らない、ということ。

5点目のトイレ設置は、ニーズがわからないので、地域からの要望や子どもたちの通学への影響度を確認したい。

#### 参加者

クマの対策の件で、中津川市と猟友会の連携はどうなっているか。

#### 市長

以前よりも連携できていると思っている。中津川市は他の市町村と比べて猟友会の数は比較的多く、すぐ対応していただいている。

#### 参加者)

今後、さらに状況が悪化した場合に、猟友会の方への手当の増額や、猟友会の人手を増やす対策も考えてほしい。

#### 司会

次に「③いじめ・不登校問題について」をお願いします。

#### 参加者

市長が「いじめ・不登校問題」を公約に掲げた当時の問題意識と解決の方向性を教えてほしい。

#### 市長

「いじめ・不登校問題」は、子どもだけでは解決できず、学校、教育委員会、PTA など大人が一緒になって環境を作る必要がある。

子どもの変化をキャッチすることが重要。家庭では親、学校では先生が、子どもの変化に気づくことができる環境づくりが必要。先生の働き方改革とも関連するが、

宿題の丸付けなどは親でもよく、その時間を子どもとの接点を作る時間に使うべき。

#### **参加者**

先生が見て見ぬふりや、モンスターペアレンツを恐れて声に出せない先生もいるのではないか。モンスターペアレンツ対策も考えていく必要がある。

#### **参加者**

苗木中学校では、担任制をやめて、複数の職員でクラスを見る体制を今年から導入している。1つの方法として、効果検証をし、市全体に展開してほしい。

#### **市長**

モンスターペアレンツは、PTA の皆さんから保護者への発信もお願いしたい。

#### **参加者**

先生が気づきづらい状況もあるので、早めに気づく仕組みづくりをしてほしい。

#### **市長**

子どもを対象としたアンケートを取っているが、本当のことを書けない子もいると思う。いかにキャッチするかが重要。先生たちのスキル向上も必要で、教育委員会も含めて、先生の教育に取り組んでいる。

不登校対策として、市内 16 校に校内教育支援センターを設置している。学校には行けるが教室には行けない子への対応として、別室で授業の映像または補助の先生を設けて授業が受けられる。

市費負担で学校の補助員を多数配置しており、子どもの数の規模から言うと、県内では、岐阜市に次いで 2 番目に多い。

#### **参加者**

学校に行きづらい子どもや保護者が孤立しないよう、安心して相談できる場づくりはどのように取り組んでいるのか。

#### **市長**

市内では、かやの木教室とあけぼの教室で相談を受けている。令和 7 年の 10 月末までの相談件数は、かやの木教室で 43 件、あけぼの教室で 172 件。あけぼの教室は卒業生や親の相談も含んでいる。

### 参加者

西小学校の学校運営協議会でも、いじめや不登校の問題は毎回取り上げている。みんなの交流の場を来年度に向けて計画したいと考えている。親だけでなく子どもも参加できる交流の場を作りたい。

### 市長

悩みを抱え込まないことが重要。相談できる場所があることを知ってもらい、連携を取ることが大事。PTAで親の悩みを吸い上げ、教育委員会や学校と連携して解決していくことが必要。

### 参加者

PTA 会長が教育委員会に直接相談に行くケースは少ないと思う。会長は学校の親の窓口なので、教育委員会への相談窓口を明確にして告知すれば、親の意見が教育委員会に届きやすくなるのではないか。

### 市長

小中学校の保護者は、まずは学校に相談となってしまう。教育委員会を上手に利用してもらえばよい。

### 参加者

学校運営協議会では、家の環境(スマホやネット)が良すぎて学校に行きたくない子どもの話が出た。

### 市長

時間の使い方が重要。上手にやっている家庭もあると思うので、PTA で共有することが必要。

### 司会

皆さんの生活や PTA 活動に生かし、みんなで共に子育てしていくことが大事。来年も市長との対話集会が開けることを期待している。

### 市長

学校側と保護者がしっかりと向き合い、子どもたちのための環境づくりを話し合う親の組織として、PTA は必要な存在。保護者の中にはなくてもいいという意見もあるかもしれないが、PTA の存在意義をさまざまな機会でも話してほしい。